

豊かな暮らしを支える

重要な基盤として



南予水道企業団は、地理的特徴から水源に乏しかった南予地区（現宇和島市・西予市・八幡浜市・伊方町）における水道用水や農業用水の継続的な確保を目指し、昭和48年に設立されました。

野村ダムから取水・浄水した安全な水を自治体の水道局へ供給する重要な役割を担っていて、平時はもちろん、近年多発するゲリラ豪雨などの気候変動の時でも安定した水質を維持するため、365日24時間体制で水質を監視・管理しています。職員が住民と直接対面する機会は少ないですが、安全な水道用水や農業用水を提供する裏方としての責任と使命を持って日々の業務に取り組んでいて、その仕事内容は私たちの生活と密接に結びついています。

職員の皆さんは「水道用水を利用する住民の皆さんには、身近で取り組みやすい事柄から節水の意識を持って、大切に水を利用してもらいたい」と話します。現在は浄水施設の老朽化対策や技術職員の確保などのさまざまな課題に直面していますが、これからも皆さんが安心して利用するための安全な水を生み出し、南予地区の豊かな暮らしを支えるため日々奮闘します。